



香川民医連2013秋の社保・平和の取り組み方針の具体化を進めましょう！

安倍政権は、7月の参院選での「大勝」をてこにこの秋から、あらゆる分野で「国のかたち」を変える全面改悪を進めようとしています。

香川民医連では、8月に確認された全日本民医連第3回評議員会方針なども踏まえて、今年の秋の平和・社保の取り組みとして、右記のような課題を提起しています。

すでに今月に入って、県内外で行われた原発、社保、平和の課題での集会にのべ100名以上の職員が参加し、毎週水曜日には医療生協本部を始め平病エリアの事業所職員が中心となって街頭署名行動なども取り組まれています。

引き続き、11月には自治体キャラバン、12月からは県連社保学校も開校予定ですので、各事業所で取り組み課題の具体化を進めていきましょう。

☆今年の取り組み課題☆

- ◎県連社保学校への参加
- ◎自治体キャラバンへの参加
- 第1回県連平和学校の成功
- 各種学習資材・宣伝物を活用した事業所・職場・地域での学習と宣伝
- 4署名の集約とナースウェブ、介護ウェブへの参加
- 事例検討や無料定額診療事業の前進など各事業所での受療権を守る活動の推進
- 福島原発事故避難者健診の成功
- 他団体と協力共同した運動の前進
- 各種集会等への参加者派遣
- 「いつでも元気」の購読者拡大



いつでも憲法

憲法改悪に向けた動きが強まる中、県連理事が憲法に対する想いをリレーで投稿していきます。

Let's think simply～「良いか、悪いか」単純に考えてみよう～

今、安倍政権は憲法を変えるための布石を次々にうってきています。その究極目的は、日本の平和憲法の心臓である憲法9条を変えることであるといわれています。

思い起こせば17年前、アメリカで大学生をしていた頃、授業で自分たちの出身国のことをプレゼンした時、私は「日本は先の大戦でかけがえのないものをたくさん失った。その反省からもう二度と悲惨な戦争はしない、と誓って作りあげたのが今の9条をはじめとした現憲法です」と紹介しました。するととたんに周りの目が私に集中し、「いったいどんな国なんだ？」と質問されました。特に韓国人学生と、そのことがきっかけで仲良くなれたことを思い出します。これほど我が国の平和憲法は、日本が世界に自信を持って誇れる数少ないもののひとつなのです。海外生活で分かったことですが、外国の人々は私たちが思っている以上に日々平和が脅かされる恐怖の中で暮らしている人たちが多く、平和を作り出すことがいかに難しいことかをよく知っているということです。

安倍首相が「21世紀の国際情勢にふさわしい我が国の立ち位置を追及していく」と如何に饒舌に集団的自衛権の行使の必要性を説いたところで、武力行使に変わりはありません。武力を行使することと武力を否定し平和を創りだそうとする行為のどちらが国際的に尊敬されまた信頼されるかは言うまでもありません。自分のことを考えるのは大切なことですが、自分のことだけを考えていては周りには決して理解されません。

今が大切な決断の時です。日本が本当の意味で世界から尊敬される国になるために・・・



安倍政権は10/21、武器輸出三原則の抜本的な緩和など軍事的対応の強化を柱とした国家安全保障戦略の原案を策定。

香川民医連理事（高松協同病院地域ケア部部长）
藤原 勝之



月刊誌「いつでも元気」(定価 380円)
購読キャンペーン実施中!! (10~12月)

お問い合わせは、
医療生協本部まで
087-812-6301